

新時代への胎動を期待して

野々市中央地区整備事業の集大成である「にぎわいの里のいち カミーノ」が、一昨年の「学びの杜のいち カレード」に引き続き、開館いたしました。北国街道に並ぶ町家風の外観をイメージし、3層吹き抜けになった開放感のある内部と敷地中央に配置した広場では、さまざまな交流活動に取り組むことができます。



栗 貴章 市長

この地はかつて、野々市尋常高等小学校、旧役場庁舎や中央公民館があった野々市の歴史がつまった地でもあります。愛称の「カミーノ」はスペイン語で「道」という意味があり、これからの新しい道を切り開く期待と希望が込められています。

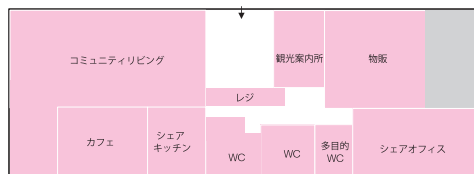
平成から、新しい時代へと移り変わるこの時期に、「道」と名付けたことは決して偶然ではなく、この地に再び息を吹き込むことは、新たなまちづくりの「道」になると思っております。さらなるにぎわいが創り出され、「市民協働のまちづくり」の拠点として、象徴として、多くの市民の皆様へ愛され、活躍される舞台としてご利用いただくことを願っております。



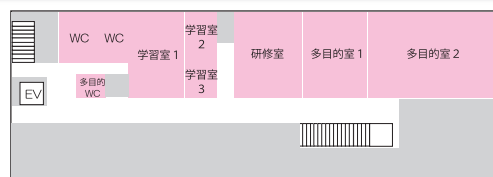
にぎわいの里のいち カミーノの館内図

カミーノは「中央公民館」、「野々市公民館」、「市民活動センター」の機能を持つ3階建ての建物と平屋建ての民間商業施設「1の1 NONOICHI」の2つからなっており、市民や団体、観光客はそれぞれの目的に合わせた施設を利用できるようになっています。

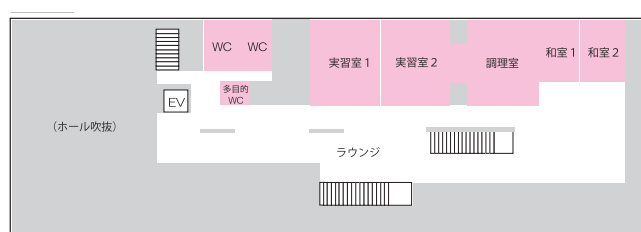
1の1 NONOICHI



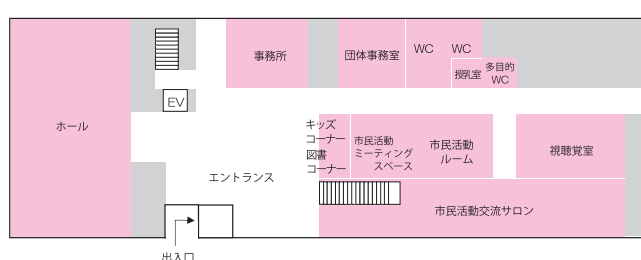
3階



2階



1階



にぎわいの里のいち カミーノが開館！

カミーノが開館

旧中央公民館・市立図書館（町役場）跡地に「にぎわいの里のいち カミーノ」が開館しました。

カミーノには市民の生涯学習の場としての役割を持つ「中央公民館」「野々市公民館」に加え、市が掲げる市民協働のまちづくりを進めるための拠点となる「市民活動センター」、市物産品の販売や観光PR拠点となる民間商業施設「1の1 NONOICHI」が設置され、3つの機能を持つ複合施設となっています。

また、敷地内には「いつもの広場」を整備。ここでは定期的にマルシェなどのイベントを開催する予定となっており、多くのヒトやモノが集まることが期待されます。

さまざまな機能を有する「にぎわいの里のいち カミーノ」。市立図書館と市民学習センターの機能を持つ「学びの杜のいち カレード」や文化会館フォルテ、喜多家住宅など北国街道に残る歴史的資産と共に市民活動の拠点として、多くのヒトとモノの交流を生み出し、市内のにぎわい創出につなげていきます。

中央公民館 野々市公民館

中央・野々市公民館の特徴

- ・さまざまな機能を持った部屋を備え、公民館サークルなどの各団体が自分たちの活動に合った部屋を利用できる
- ・一部を除いて諸室ガラス張りになっており、活動の様子を見ることができる

平成29年7月に旧施設が閉館して以降、拠点を「学びの杜のいち カレード」内に移していた中央公民館・野々市公民館が帰ってきました。

館内にはホール、視聴覚室、防音機能を備えた多目的室や流し台のある実習室、和室と一体利用が可能な調理室など多彩な部屋があり、さまざまな団体が自分たちの活動に合った部屋を利用することができます。今後はこれまでに以上に活発な公民館活動が繰り広げられることでしょう。



中央公民館
田多野 和彦 館長

待ちに待った公民館が完成しました。人は出会って知人となり、語り合って友人となる。そして活動しながら仲間となる。この「つどう・まなぶ・つなぐ」が公民館の設置目的です。

ところで、カミーノの駐車場にもある思いやりゾーン。そこに停めるか、必要とする人のために空けておくか、一人一人の小さな決断がそのまちの価値を決めます。人と人とのつながりや思いやりこそ、住みよいまちの決め手なのです。



市民活動センター

「市民活動センター」の特徴

- ・誰でも利用できるミーティングスペースや交流サロンを設置
- ・市民活動ルームや印刷室など登録団体が利用できる設備もある
- ・市民活動についての相談に応じるコーディネーターを配置
- ・市民活動に関する情報を発信

市民活動センターは、市内で市民活動を行っている団体や個人が利用できる施設です。

1階には市民活動ルームやミーティングスペース、交流サロンが設置されており、市民活動の場として利用することができます。

また、社会貢献活動を目的として活動する、など一定の要件を満たした団体は登録団体として登録することができます。登録団体は市民活動ルームと印刷室を利用できるほか、パソコンやプロジェクターなどの使用も可能です。

市民活動センターには、市民活動コーディネーターを配置する予定です。コーディネーターは市民や登録団体の活動に関する質問や相談に応じ、団体間の連携を促します。



にぎわいの里のいち カミーノ 施設紹介

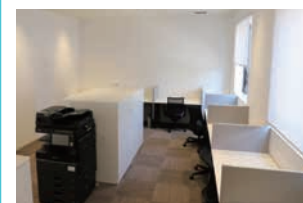
民間商業施設 1の1 NONOICHI

「1の1」の特徴

- ・カフェや物販コーナーがあり、地域住民から観光客までさまざまな人が集うことができる
- ・シェアオフィスやシェアキッチンを備え、創業を志す人に対するサポートも充実

「1の1」という愛称は学校の教室のように楽しんでもほしいという願いが込められたもので、1年1組から学び始めるみんなの学び舎をイメージしています。

ここではシェアオフィスやシェアキッチン、カフェなどのほか、物販コーナーや観光案内所も設置。創業を志す人に充実したサポートを提供するほか、地域住民や観光客などさまざまな人が集い交流することで、新たなにぎわいを生み出すことが期待されます。



シェアオフィス



新たに創業を志す市民や、新規事業の展開を目指す事業者がビジネスの拠点として利用できるよう、オフィス機能を備えた施設です。利用者同士の連携と協力などによって地域に新たな産業やビジネスとコミュニティが創造されることを目的としています。



シェアキッチン



シンクや調理器具のほか、本格的なオープンも備えたプロ仕様のキッチンになっており、飲食店や食品製造販売を志す人が、試験的に自分の店として使うことができる場所です。出店者に対して商品開発や販路開拓、経理など開業に関するさまざまなサポートも行います。

